

フローサイトメトリー法による免疫グロブリン軽鎖制限を有しないびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の予後解析および免疫組織学的検討

1. 研究の対象

2007年4月1日～2018年3月31日に当院で診断、または他院から当院に紹介されたびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の患者さんのうち、フローサイトメトリー法による細胞表面抗原分析の結果が利用できた方を対象とします。

2. 研究目的・方法

びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の診断においては、癌細胞に出現している分子を詳細に解析する、フローサイトメトリー法と呼ばれる検査が、重要な役割を果たしています。細胞が癌細胞か正常な細胞なのかを判別するために、フローサイトメトリー法では κ 鎖と λ 鎖と呼ばれる分子の量を確認します。びまん性大細胞型B細胞リンパ腫の患者さんでは、 κ 鎖と λ 鎖と呼ばれる分子の量に偏りが見られるのが通常ですが、そうでない異常なパターンを示す患者さんもおられます。この異常なパターンを示すびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の特徴についてはまだ十分に解明されていません。そこで今回の研究では、このパターンの違いによるびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の患者さんの臨床的および病理学的特徴を解析します。

2007年4月1日～2018年3月31日の期間に診断された、または他院にて診断され当院に紹介されたびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の患者さんのうちフローサイトメトリー法の検査が実施されている患者さんを抽出し、 κ 鎖と λ 鎖の分子の量のパターンを2つに分けてその臨床的・病理学的特徴を比較検討します。 κ 鎖と λ 鎖の分子の量に異常なパターンを示す患者さんに関しては、すでに生検された病理組織に免疫染色を追加して実施します。研究期間は倫理委員会承認後から西暦2021年3月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴、カルテ番号、病期、performance status、転帰、病理組織の免疫染色の結果等

試料：生検で採取した病理組織

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者 血液内科 氏名 吉田 全宏

研究担当者 血液内科 氏名 中舎 洋輔

〒534-0021

大阪市都島区都島本通2-13-22

電話 06-6929-1221 (代表)